

マラウイ月報(2014年7月)

主な出来事

【内政】

- 独立50周年記念式典を開催
- リロングウェ、ブランタイヤ、ムズズで市長選を実施

【外政】

- ソールベルグ・ノルウェー首相がマラウイを公式訪問

【経済】

- JTI、マラウイでのタバコ生産工場投資計画を中止
- ゴンドウェ財務・経済計画開発大臣が2014年度予算案に言及

【内政】

・独立50周年記念式典を開催

7月6日、首都リロングウェ市、シーボ・スタジアムにて独立50周年式典が開催された。ムガベ・ジンバブエ大統領、ビラル・タンザニア副大統領、ヴァキナ・モザンビーク首相等外国からの賓客の他、ムルジ元マラウイ大統領等の国内要人、西岡駐マラウイ日本大使を含む各国大使も参加した。ムタリカ大統領は式典のスピーチで、マラウイは独立後一環して平和を保ち、複数政党制民主主義の実現等数多くのことを達成したが、現在も後発開発途上国であり、未解決の課題は多いとし、国民に対して愛国心、自制心、団結、勤勉等の姿勢を持ち国の発展に貢献するよう呼びかけた。(7月7日、ネーション紙1-2面、デイリータイムズ紙1-2面)

・マラウイ選挙委員会(MEC)倉庫で未開票投票用紙発見後に火災発生

7月15日、リロングウェ市内のマラウイ選挙委員会(MEC)の保有する倉庫で火災が発生し、今年5月20日に行われた総選挙で使用された記入済みの投票用紙等が焼失した。火災発生の前には、同倉庫から、未開票の記入済み投票用紙が入った投票箱900箱が発見されており、同投票用紙が使用されたリロングウェ市南東選挙区について票の数え直しが予定されていたが、これら投票用紙も火災により焼失した。火災の原因について現在警察が調査を行っている。(7月16日、ネーション紙1-3面、MEC報道発表)

・ムタリカ大統領が大統領特別顧問を任命

7月17日、ムタリカ大統領は新たに7名の大統領特別顧問を任命した。これら7名には、与党民主進歩党(DPP)幹部、故ビング・ワ・ムタリカ大統領(ムタリカ現大統領の実兄)の妻、カリスタ女史も含まれている。ムタリカ大統領は現在まで合計15名の顧問を任命したが、国内の政治評論家からは、これら顧問の多くは与党DPP党员であり顧問として中立的な意見を述べられない、また、歳出削減のために閣僚を減らした動きに逆行するもので無駄遣いで

あるとの批判が集まっている。（7月18日ネーション紙1－2面，23日，ネーション紙1－3面）

- ・ **主要都市にて市長選が終了**

リロングウェ，ブランタイヤ，ムズズの3市において市議会議長（市長）選挙が開催された。リロングウェでは，与党民主進歩党（DPP）のチャポンデラ氏が市長に，無所属のバンダウェ氏が副市長に，ブランタイヤでは無所属のチャラマンダ氏が市長に，与党DPPのンディボ氏が副市長に，ムズズでは野党人民党（PP）のムカンダウィレ氏が市長に，同じくPPのチュンガ氏が副市長にそれぞれ当選した。（7月10日，ネーション紙1－2面，デイリータイムズ紙1，3面）

【外政】

- ・ **ソールベルグ・ノルウェー首相のマラウイ訪問**

7月1日，ソールベルグ首相はマラウイを公式訪問し，ムタリカ大統領と会談，共同会見を実施した後，晩餐会に出席，翌日には中部デツツアの学校を訪問し，当国中部を対象とした教育支援イニシアチブを開始する旨発表した。同イニシアチブはUNICEF，WFP，UNFPA等の国連機関との協力により実施されるもので資金規模は約72億クワチャである。またソールベルグ首相はンコマ看護学校も視察した。（7月3日，ネーション紙3，5面，デイリータイムズ紙3面）

- ・ **第一回日本大使杯柔道ジュニア選手権大会を開催**

7月12日，マラウイ柔道協会と在マラウイ日本国大使館の共催により第一回日本大使杯柔道ジュニア選手権大会が開催され，ジュニア選手約40名が参加した。西岡大使は，閉会式のスピーチで，日本政府は2020年東京オリンピックにむけ，各国でのスポーツ支援を強化しており，マラウイからも東京オリンピックに選手を派遣できるよう柔道等のスポーツを支援していきたい旨述べた。また，同大会にはチウミア青年・スポーツ開発・文化大臣，スポーツ評議会会長，オリンピック協会関係者等も訪れた。チウミア大臣は，日本による柔道支援に感謝する，今回の大会では多くの女子選手が参加したことが特にすばらしい旨述べた。（7月16日，デイリータイムズ紙50面）

【経済】

- ・ **ビーフォワード（社）マラウイ販売事務所設立**

ングウェニヤ在京マラウイ大使が中古自動車ネット販売大手のビーフォワード（社）東京本社を訪問した際，同社がマラウイに販売事務所を設立することが発表された。（7月15日，ネーション紙12面，19日，デイリータイムズ紙9-10面）

- ・ **JTIタバコ生産工場投資計画を中止**

JTI は2010年にタバコ生産工場投資をマラウイ政府に提案したものの、マラウイ政府からの反応が無かったため、右投資計画を取りやめ、スーダンやエジプトのタバコ会社買収に投資資金を使用したと発表した。(7月30日、ネーション紙9-10面、 デイリータイムズ紙ビジネス1面)

- ・ **鉱物資源の空中物理探査98%終了**

ムルジ・天然資源・エネルギー・鉱業大臣は昨年開始された、鉱物資源の空中物理探査プロジェクトが 98%終了した旨発表した。本プロジェクトによりウランや磁石等の放射性鉱物資源のデータを収集でき、今後の鉱山開発に活かすことが可能となる。(7月11日、ネーション紙9面、 14日、 デイリータイムズ紙ビジネス10面)

- ・ **マラウイ・モザンビーク国際送電線網の進捗**

2017年に設置が予定されているマラウイ・モザンビーク国際送電線網について、エネルギー省電力局は当初モザンビーク国内のマタンボからマラウイ国内のフォンベヤまでの送電のみを想定していたが、追加でフォンベヤからモザンビーク国内のナカラまでも接続する計画へ変更した旨述べた。(6月25日、ネーション紙12面)

- ・ **IMF信用拡大ファシリティ**

IMFは対マラウイIMF信用拡大ファシリティに関する協議を9月か10月には再開し、年末にはIMF理事会にてローン供与の意思決定を委ねる予定である旨述べた。(デイリータイムズ紙ビジネス9面)

- ・ **2014 年度予算案**

ゴンドウェ財務・経済計画開発大臣は、9月に公式発表される2014年度予算案につき、歳出は、7430億クワチャになる見込みのため、昨年度の6380億クワチャから約16.5%増大する旨述べた。歳入のうち税等の国内収入で6650億クワチャ、残り780億クワチャを外国からの支援で賄う必要がある。外国ドナーのうち、世界銀行、アフリカ開発銀行、EUは一般財政支援を行う旨既にコミットしている。(7月22日、ネーション紙17面、 7月25日、ネーション紙1-2面、 デイリータイムズ紙1-3面)